

しっかり立って、動じないようにする

「私の愛する兄弟たち、**しっかり立って、動じ[ないように]し**てください」。 [コリント第一 15:58](#)

[122 番の歌](#) 揺らぐことなく勝利を得る

何を学ぶか*[サタン](#)はアダムとエバの時代から、何が正しくて何が間違っているかは自分で決めればいいという考えを広めています。そして、[エホバのおきて](#)や**組織の指示**についてもそのような見方をするよう仕向けてきます。[サタン](#)が世の中に広めている考えに影響されないようにするには、どうしたらいいでしょうか。また、どんな時もエホバに従い続けるという決意を強めるために何ができますか。

1-2. クリスマスは、[高層ビルのどんな特徴](#)に注目することができますか。 ([コリント第一 15:58](#))

1970 年代の終わりごろ、東京に 60 階建ての超高層ビルが建てられました。人々は、頻繁に起こる地震に耐えられるのだろうかと思いました。でも、このビルは頑丈でありながらも揺れを吸収できるように設計されていました。私たちクリスマスも、この建物のようにする必要がありま

す。どうしてそう言えますか。

2 クリスマスは、**確固とした態度**と**柔軟性**の**バランス**を取る必要があります。[エホバのおきて](#)や**基準**を守ることに限しては、**動じない強さ**が必要です。 ([コリント第一 15:58](#) それで、私の愛する兄弟たち、しっかり立って、動じることなく、主の活動をいつも活発に(*たくさん)行ってください。皆さんが知っているように、主のために働くことは無駄ではないのですを読む。) 「**進んで従い**」，**妥協すること**はしません。その一方で、**状況が許す時や必要が生じた場合**には「**分別**」を示し、**柔軟である必要**があります。 ([ヤコ 3:17](#) 一方、天からの知恵を持つ人は、第一に清く、次いで平和を求め、**分別**があり、進んで従い、憐れみと良い実に満ち、差別をせず、偽善的ではありません) こうした**バランス**が取れているなら、**過度に厳しくなったり**、**何でも許容したりはしないはず**です。この記事では、① **どうすれば動じないでいられるか**について学びます。また、② **サタンが私たちの決意を弱めるために使う 5 つの方法**と、③ **どうすればサタンからの攻撃に立ち向かえるか**も考えます。

どうすればしっかり立つことができるか

3. [使徒 15 章 28, 29 節](#)によると、エホバは**どんなおきて**を与えていますか。

3 **法を定める面**で**最高の権威**を持っているエホバは、**ご自分に仕える人たち**にはっきりとした**おきて**を与えてきました。 ([イザ 33:22](#) エホバは私たちを裁く方、エホバは私たちのために法を定める方、エホバは私たちの王。私たちを救ってくださる方である) 例えば、**1 世紀の統治体**は、クリスマスが**しっかり立つべき 3 つの大切な点**を挙げています。(1) **偶像崇拝をきっぱり避け**、**エホバだけを崇拝**すること、(2) **血の神聖さ**に関するエホバの**おきて**を守ること、(3) 聖書に書かれている**高い**

道徳基準に従うことです。（[使徒 15:28, 29](#)というのは、聖なる力によって私たちは、次の必要な事柄以外、皆さんに何の重荷も加えないのがよいと考えたからです。29 すなわち、偶像に犠牲として捧げられた物、血、絞め殺された動物、性的不道徳を避けていることです。これらのものから注意深く身を守っていれば、皆さんは穏やかに暮らせませす。健やかにお過ごしくださいを読む。）では、現代のクリスチャンはこうした3つの点でどのようにしっかり立つことができるでしょうか。

4. 全くの専心を持ってエホバを崇拝するとはどういうことですか。（[啓示 4:11](#)）

4 **偶像崇拝をきっぱり避け、エホバだけを崇拝する。**エホバはイスラエル人に、全くの専心を持ってご自分を崇拝するようにと命じました。（[申 5:6-10](#) 私はあなたの神エホバである。奴隷となっていたあなたをエジプトから連れ出した。7 あなたは私以外の(*私に反抗して/d 私の顔に逆らって)どんなものも神としてはならない。8 あなたは、天や地や水の中にあるものに似たどんな彫刻像や形も作ってはならない。9 それにひれ伏してはならず、誘われてそれを崇拝してもならない。あなたの神である私エホバは全くの専心を要求する神である。私を憎む人については、父の過ちに対する処罰を子や孫やひ孫に及ぼす。10 私を愛して私のおきてを守る人については、子孫千代にまで揺るぎない愛(*愛ある親切)を示す) イエスは悪魔から誘惑された時、エホバだけを崇拝しなければならぬと答えました。（[マタ 4:8-10](#) さらに、悪魔はイエスをとりわけ高い山に連れていき、世界の全ての王国とその栄光を見せて、9 言った。「ひれ伏して私を崇拝するなら、これら全てをあげましょう」。10 その時、イエスは言った。「離れ去れ、サタン! 『あなたが崇拝すべきなのはエホバ神であり、この方だけに神聖な奉仕をしなければならぬ』と書いてあるのです」） 私たちも偶像を崇拝することは決してしません。宗教指導者や政治家、スポーツ選手や芸能人を神のように見なして崇拝することもしません。エホバにしっかり従い、「全てのものを創造された」エホバだけを崇拝します。（[啓示 4:11](#) 私たちの神エホバ(*), あなたは栄光と栄誉と力を受けるのにふさわしい方です。あなたが全てのものを創造されたからです。全てのものは、あなたのご意志によって存在するようになり、創造されましたを読む。）

5. 私たちが血を避けるべきなのはどうしてですか。

5 **命と血の神聖さに関するエホバのおきてを守る。**このことはどうして大切でしょうか。聖書によると、血は貴重な贈り物である命を表しているからです。（[レビ 17:14](#) あらゆる生き物の命はその血であり、命が血の内にあるのである。そのため私はイスラエル人にこう言った。「どんな生き物の血も食べてはならない。あらゆる生き物の命はその血だからである。血を食べる人は皆、除かれる」）エホバは動物の肉を食べることを初めて許した時、血を食べてはいけないと言いました。（[創 9:4](#) ただし、血を含む肉を食べてはならない。血は命だからである）イスラエル人にモーセの律法を与えた時にも同じことを命令しました。（[レビ 17:10](#) イスラエルの民や、あなたたちの間に住んでいる外国人の誰かが、何らかの血を食べるなら、私は血を食べているその人に必ず厳しい顔を向け、その人を民の中から除く）そして、1世紀にも統治体を通して、「血.....を避けている」ようにと全てのクリスチャンに命じました。（[使徒 15:28, 29](#) というのは、聖なる力によって私たちは、次の必要な事柄以外、皆さんに何の重荷も加えないのがよいと考えたからです。29 すなわち、偶像に犠牲として捧げられた物、血、絞め殺された動物、性的不道徳を避けていることです。これらのものから注意深く身を守っていれば、皆さんは穏やかに暮らせませす。健やかにお過ごしください）それで私たちも、どんな医療を受けるかについて決める時、この命令にしっかり従います。*血に関する神の見方について詳しくは、[「いつまでも幸せに暮らせませす」の本のレッスン 39](#)を参照。

6. エホバの道德基準に従うためにどんな努力をする必要がありますか。

6 **エホバの高い道德基準にしっかり従う。** (**ヘブ 13:4** 結婚は全ての人に尊ばれるべきであり、夫婦の関係は汚れないものであるべきです。神は**性的に不道德**な人(ギ語ポルネイアの訳で、この語は聖書の中で、神に禁じられた性的な行動を指して使われている。姦淫、売春、結婚していない人同士の性関係、同性愛、獣姦などが含まれる。「啓示」の書では比喩的な意味で使われ、「大いなるバビロン」と呼ばれる宗教上の娼婦が権力や利益を得ようとして世界の支配者たちと関係を持ったことを表している)や**姦淫をする人を断罪**するからです)パウロは、**間違った欲望を除き去る**ことの**大切さ**を教えるために、**体の各部を**いわば「**殺しなさい**」と言いました。これはつまり、**思い切った行動を取る**必要があるということです。私たちは、**性的不道德につながるようなものを一切避**けます。(コロ 3:5 ですから、性的不道德(ギ語ポルネイア)、汚れ、奔放な性欲、有害な欲望、また**食欲つまり偶像崇拜に陥らないよう**、地上の体の各部をいわば殺しなさい。**ヨブ 31:1** 私は自分の目と契約を結んだ。だから若い女性に対して不適切な関心を向けることなどできない) **誘惑を感じる時には**、**エホバとの絆を傷つけるような考えや行動をすぐに退ける** ようにしましょう。

7. どんなことを決意するのは大切ですか。どうしてですか。

7 エホバは、私たちが「**心から従順にな[る]**」ことを願っています。(ローマ 6:17 神に感謝すべきことに、かつて罪の奴隷だった皆さんは、今では神から与えられた教えの型に心から従順になりました) **エホバのおきては絶対的**なもので、**誰にも変えることが**できません。でも、**大切な点**として、**エホバの教えはいつでも私たちのために**なります。(イザ 48:17, 18 あなたを救う(d*買い戻す)方、イスラエルの聖なる方、エホバはこう言う。「私エホバは、あなたの神である。**あなたのためになる生き方を教え**、あなたを導いて正しい道を歩ませる。18 **あなたが私のおきてに注意を払いさえすれば！** そうすれば、あなたの平和は川の流れるように豊かになり、あなたの正しい行いは海の波のように多くなる。**コリ一 6:9, 10** 正しくない人が神の王国を授けられることはない、ということを知らないのですか。思い違いをして(*だまされて)はなりません。**性的に不道德な人(*)**、偶像を崇拜する人、**姦淫をする人**、**同性愛行為に身を任せる人**(同性愛行為において女役をする男性のことと考えられる)、**同性愛にふける人**(d 男性と寝る男性/同性愛行為において男役をする男性のことと考えられる)、10 盗む人、貪欲な人、酩酊する人、ののしる人、脅し取る人が**神の王国を授けられることはありません**) 私たちは**エホバに喜んでいただくためにできる限りのことをしたい**と思います。詩編作者はこう言いました。「**私は決意を固めた。どんな時も最後まであなたの規定に従う**と」。(←詩 119:112) 私たちも**同じ態度を示したい**ものです。とはいえ、**サタンは私たちの決意を弱めよう**としています。どんな方法を使うのでしょうか。

サタンが使う方法

8. サタンは迫害によって、私たちの決意をどのように弱めようとしていますか。

8 **迫害。** サタンは**私たちの決意を弱めよう**として、**身体面**でも**感情面**でも**攻撃**してきます。サタンの狙いは、私たちを「**むさぼり食[い]**」、**エホバとの絆を壊す**ことです。(ペテ一 5:8 頭がさえた状態(*鋭敏な感覚/冷静さ)を保ち、油断なく見張ってください。敵である悪魔が、ほえるライオンのように歩き回って、**誰かをむさぼり食おう**として(*むさぼり食おうと探して)います) 実際、**1 世紀**のクリスチャンは**確固**とした態度を保ったために、**脅されたり打ちたたかれたり殺されたり**しました。(使徒 5:27, 28 こ

うして使徒たちは連れてこられ、サンヘドリンの前に立たされた。大祭司が質問して、28 言った。「もうあの名によって教えるはならないときっぱり命じたのに、あなたたちはエルサレム中で教えを広め、あの男が死んだ責任を私たちに負わせようとしている」、40 皆はガマリエルの意見を受け入れ、使徒たちを呼び出して打ちたたき、イエスの名によって語るのをやめるようにと命じてから去らせた。7:54-60 これを聞いた人たちは、心の中で激怒し、ステファノに向かって歯ざしりし始めた。55 しかしステファノは聖なる力に満ち、天を見つめて、神の栄光と神の右に立つイエスを目にし、56 こう言った。「見てください。天が開いて、人の子が神の右に立っているのが見えます」。57 すると彼らは力の限り叫び、手を耳に当て、彼に向かって一斉に突進した。58 そして町の外に追い出した後、石打ちにし始めた。ステファノを訴えた証人たちは外衣をサウロという若者の足元に置いた。59 そして石を投げ続けた。ステファノは、「主イエス、私の命を受け取ってください」と訴えた。60 それからひざまずき、強い声で、「エホバ、この罪を彼らに負わせないでください」と叫んだ。そう言ってから、死の眠りに就いた。サタンは今でも迫害を続けています。その証拠に、ロシアなどの国で兄弟姉妹がひどい扱いを受けています。また、身近な人からの反対や迫害を経験している兄弟姉妹もたくさんいます。

9. 巧妙な攻撃に注意が必要なことは、どんな例から分かりますか。

9 巧妙な攻撃。サタンは、迫害という正面攻撃に加えて、「策略」を使うこともあります。（エフエ 6:11 悪魔の策略(*ずる賢い行為)にしっかり立ち向かえるように、神からの武具を全て身に着けましょう）ボブ兄弟の例を考えてみましょう。兄弟は大きな手術を受ける必要があったので、どんな状況でも輸血を受け入れることはできない、と医師たちに伝えました。外科医は兄弟の決定に理解を示してくれました。でも、手術の前の晩、家族が家に帰った後、麻酔科医が訪ねてきました。そしてこう言いました。「多分輸血はしないと思うけど、万が一に備えて準備はしておきますね」。もしかするとこの医師は、家族がいなければボブ兄弟は考えを変えと思ったのかもしれません。でも、兄弟はどんな状況になっても輸血を受け入れることはしないと言って、確固とした態度を貫きました。

10. 神を無視した考え方が危険なのはなぜですか。（コリント第一 3:19, 20）

10 神を無視した考え方。世間一般の見方に影響されると、私たちもエホバやエホバの基準を気に留めなくなるかもしれません。（コリント第一 3:19, 20 この世の知恵は神にとっては愚かなものだからです。「神は、賢い人がその人自身のずる賢さに捕らわれるようにする」と書かれています。20 「エホバ(*)は、賢い者たちの考え方がむなしいことを知っている」ともありますを読む。）「この世の知恵」は、間違った欲望に従って行動するよう仕向けてきます。ペルガモンやテアテラの一部のクリスチャンは、偶像崇拜や不道徳な行いをしていた人たちの影響を受け、性的不道徳を容認するまでになっていました。それでイエスは、この2つの会衆に強い助言を与えました。（啓 2:14 しかし、とがめるべき点が幾つかあります。あなたの所にはバラムの教えを固く守っている人たちがいます。バラムの教えを受けたバラクは、イスラエル人が罪を犯すように仕向けました。彼らが偶像に犠牲として捧げられた物を食べ、性的に不道徳な行為(*)をするようにしたのです、20 しかし、とがめるべき点があります。あなたがあのイゼベルのような女性を容認していることです。彼女は女預言者だと自称し、私の奴隷たちを教えて惑わし、性的に不道徳な行為(*)をさせ、偶像に犠牲として捧げられた物を食べさせています）私たちが間違った考え方の影響を受ける危険があります。

家族や友達が感情に訴えて、妥協させようとしてくるかもしれません。例えば、「自分のしたいようにすればいい」とか、「聖書の道徳基準は時代遅れだ」とか言われるかもしれません。

11. どんなことを避ける必要がありますか。

11 エホバからの指示がはっきりしていないように感じる ことがあるでしょうか。そのような場合、「書かれている事柄を越え」そうになるかもしれません。（[コリ 4:6](#) さて、兄弟たち、私は皆さんのために、こうしたことを私とアポロに当てはめて(*置き換えて)論じてきました。「書かれている事柄を越えてはならない」という点を学んでもらい、皆さんが思い上がって人をひいきしたり見下したりすることのないためです）イエスの時代の宗教指導者たちは、この点で大きな間違いを犯しました。神の律法に人間が作った規則を加える ことによって、人々に重い負担を負わせていたのです。（[マタ 23:4](#) 重い荷をくっつけて人の肩に載せますが、自分ではそれを指で動かそうとしません）エホバは私たちに聖書や組織を通してはっきりとした指示を与えてくださっています。ですから、私たちは何かを付け加えるべきではありません。（[格 3:5-7](#) 心を尽くしてエホバに頼れ。自分の考え(*理解)に頼ってはならない。6 どんな道を行く時にも神のことを考えよ。そうすれば神が真っすぐに進ませてくださる。7 自分は賢いと思ってはならない。エホバを畏れ、悪から離れよ）それで、聖書に書かれている事柄を越えたり、個人的な事柄について規則を作ったり押し付けたりしないようにします。

12. サタンは「中身の無い欺き」をどのように使っていますか。

12 欺き。サタンは「中身の無い欺き」や「世の理念」を使って、人々を間違った方向に導き、分裂させています。（[コロ 2:8](#) 哲学や、中身の無い欺きにより、誰かに捕らわれてしまうことがないように気を付けてください。そうしたものは人間の伝統や世の理念(*基礎的な事柄)に基づいており、キリストを源とするものではありません）1世紀には、聖書に沿わないユダヤ教の教えや哲学を使いました。クリスチャンはモーセの律法に従わなければいけないという考え方も広がっていました。人々はこうしたものにだまされ、真の知恵の源であるエホバから目をそらされていました。現代でもサタンは、メディアやインターネットを使って、陰謀論や権力のある人が発信する間違った情報を広めています。最近のパンデミック中にも、こうしたものが多く見られたのではないのでしょうか。[* jw.org の「間違った情報に気を付ける」](#)という記事を参照。でも、このような情報に耳を傾けた人たちとは違い、エホバの組織の指示に従った人たちは unnecessary 心配や不安を抱えずに済みました。（[マタ 24:45](#) 主人が、召し使いたちに適切な時に食物を与えるため、彼らの上に任命した忠実で思慮深い奴隷はいったい誰でしょうか）

13. 気を散らすものに注意すべきなのはなぜですか。

13 気を散らすもの。私たちは、「より重要なこと」から目をそらさないようにする必要があります。（[フィリ 1:9, 10](#) 私はこう祈り続けています。皆さんが正確な知識と十分な識別力を得て、いっそう愛の豊かな人になれるように。10 皆さんがより重要なことを見極め、キリストの日までずっと純粋でいて、人の信仰を妨げることがありませんように）気を散らされると、大切な時間やエネルギーを奪われてしまうことになるからです。おいしいものを楽しむこと、気晴らし、仕事などが生活の中で一番大切になっていないのでしょうか。こうした日常の事柄でさえ、気を散らすものになる可能性 があります。（[ルカ 21:34, 35](#) とはいえ、食べ過ぎや飲み過ぎや生活上の心配事(*暮らしのための心配事/日常生活の心配)で心が

圧迫されないよう注意していなさい。そうでないと、その日が全く突然に訪れます。35 わなのようにです。その日は地上の全ての人に訪れます) また、**社会問題**や**政治問題**についての**ニュース報道**を毎日見聞きするかもしれません。こうした**議論に気を散らされないよう**にする必要があります。気を付けていないと、**心の中でどちらかを支持**するようになってしまうかもしれません。**サタン**はこうした**方法**を使って、**正しいことを行おうとする私たちの決意を弱め**ようとしてきます。では、**どうすればサタンからの攻撃に立ち向かい、しっかりと立ち続けることができる**のでしょうか。

どうすればしっかりと立ち続けることができるか



しっかりと立つためには、**献身しバプテスマを受けた理由**をじっくり考え、**聖書を学んで思い巡らし**、**揺るぎない心**を持ち、**エホバを信頼すること**が大切。(14-18 節を参照。)

14. エホバの側にしっかりと立ち続ける上で、どんなことが助けになりますか。

14 **献身しバプテスマを受けた理由をじっくり考える。**あなたは、**エホバに仕え続けたい**という**気持ち**から、この**重要なステップを踏んだ**ことでしょう。**真理を見つけたと確信**することができたのはどうしてだったのでしょうか。**エホバについて知るにつれて**、エホバを**愛し**、**尊敬**するようになったはずです。だんだんと**信仰が育**っていき、それまで**行ったことを悔い改**めました。**良くない習慣をやめ**、**エホバの考えに沿った生き方をしたい**と思うようになりました。そして、**エホバが許してくださったと実感**して、**とても安心**したことでしょう。(詩 32:1, 2 違反を許され、罪を覆われる(*許される)人は幸せだ。2 エホバから罪があると見なされない人、誰かを欺こうとしない人は幸せだ) **集会**に出席し、**学んだことをほかの人に伝える**ようになりました。今では、**献身しバプテスマを受けたクリスチャン**として、**命に至る道を歩み続けたい**と思っています。(マタ 7:13, 14 狭い門を通して入りなさい。滅びに至る門は広くてその道は広々としており、それを通して入っていく人は多いからです。14 一方、命に至る門は狭くてその道は狭められており、それを見つける人は少ないのです)

15. 聖書を学んで思い巡らすことが大切なのはどうしてですか。

15 **聖書を学んで思い巡らす。****根を深く張った木**が**しっかりと立**てられるのと同じように、私たちも**聖書に基づいた信仰**があるなら**しっかりと立**つことができます。**木は成長**するにつれて、**根が深くまで広が**っていきます。私たちも、**聖書を学んで思い巡らす**なら**信仰が強**まります。**エホバの方法に従う**なら**必ず良い結果**になる、という**確信**も強まります。(コロ 2:6, 7 皆さんは主である

キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストと結ばれて歩み続けてください。7 教えられた通り、キリストに根を下ろし、自分をキリストの上に建て、揺るぎない信仰を持ち、感謝にあふれましょう) エホバが**ご自分に仕える人たち**を**どのように教え、導き、守ってきたか**について考えるようにしましょう。例えば、**エゼキエルは幻**の中で、**天使が神殿を細かく測っていく様子**に注目しました。この幻によって**エゼキエルの信仰は強**まりました。**私たちも、清い崇拜**に関するエホバの**基準を守**ることについて**大切な点**を学べます。***詳しくは「エホバの清い崇拜 ついに回復される！」の本の第 13 章と第 14 章を参照**
(**エゼ 40:1-4** 私たちが捕囚にされて 25 年目の初め、第 1 の月の 10 日、都市(エルサレムのこと)が陥落してから 14 年目のその日に、エホバの力が私に働き、私は都市に連れていかれた。2 神は幻の中で私をイスラエルに連れていき、非常に高い山の上に下ろした。南の方に都市のようなものがあつた。3 そこに連れていかれると、私は 1 人の人を見た。その姿は銅のように輝いていて、亜麻の綱とアシの物差しを持ち、門の所に立っていた。4 その人は私に言った。「人の子よ、よく見て、注意深く聞き、私が見せるもの全てに注意を払いなさい。あなたはそのために連れてこられたからです。あなたが見ることを全部イスラエル国民に話しなさい」**; 43:10-12** 人の子よ、イスラエル国民が自分たちの過ちのために恥じるよう、この神殿について彼らに詳しく話しなさい。彼らは神殿の設計を学ばなければならない。11 彼らが自分たちの行いを恥じるなら、彼らに神殿の設計、すなわち配置や出入り口を知らせなさい。神殿の設計と法令、また律法を全て示し、彼らの目の前で書きなさい。彼らが設計の全てに注意を払い、法令を守るようになるためである。12 これが神殿の律法である。山頂の周囲全体は極めて聖なるものである。これが神殿の律法なのである) このように**聖書の深い真理を学んでじっくり考える**ことは**私たちのため**になります。

16. 揺るぎない心はボブ兄弟にとってどのように助けになりましたか。(詩編 112:7)

16 **揺るぎない心を持つ**。ダビデは**エホバを愛し続ける**という**決意**を次のように歌いました。「神よ、**私の心は揺らぎません**」。(詩 57:7 私の心は揺らぎません。神よ、私の心は揺らぎません。私は歌い、音楽を奏でます) 私たちも**揺るぎない心でエホバに頼る**ことができます。(詩編 112:7 **悪い知らせを恐れない**。揺るぎない心でエホバに頼るを読む。) 先ほどの**ボブ兄弟**にとって、このことはどのように助けになったのでしょうか。万が一に備えて**輸血の準備をしておく**と言われた時、兄弟はすぐに、「**輸血される可能性が少しでもあるなら、この病院を出ていく**」と答えました。後に兄弟は、「**何の迷いも不安もありません**でした」と言っています。



強い信仰があるなら、**どんな問題が生じても**しっかり立っていられる。(17 節を参照。)

17. ボブ兄弟からどんなことを学べますか。(写真と挿絵も参照。)

17 **ボブ兄弟**は、入院するずっと前から決意を固めていたので、**しっかりと立つ**ことができました。どんなことが**助け**になったのでしょうか。まず、①**エホバに喜ばれることをしたい**と思っていました。そして、②**命や血の神聖さについて**、聖書や出版物を使ってよく調べました。さらに、③**エホバの指示に従う**ことが**いつまでも続く幸せにつながる**ということを**確信**していました。私たちも、**どんな問題**にぶつかっても**揺らがない心を持つ**ことができます。



バラクと兵士たちが、**勇気を持ってシセラの軍隊を追い掛**けている。（18節を参照。）

18. エホバを信頼することについて、バラクからどんなことを学べますか。（表紙の絵を参照。）

18 **エホバを信頼する**。**バラクの例**を考えてみましょう。**イスラエルの兵士には盾も小やりもあり**ませんでした。**でもエホバは**、女預言者の**デボラを通して**、**シセラが率いる強力なカナン軍に向**かって出ていくようにと**バラクに**言いました。（**裁 5:8** 民は新しい神々を選んだ。その時、町の門の中で戦いがあった。イスラエルの4万人の中には盾も小やりも見えなかった）さらに、**平原に下りていくように**と命じます。**900両の戦車を相手に平原に下りていくなら不利になることは分かっていましたが**、**バラクは従**いました。**兵士たちがタボル山を下**っていくと、エホバは**大雨を降**らせます。**シセラの軍の戦車は泥の中で動きが取れなくな**ってしまいました。こうしてバラクは、**エホバを信頼**したので**勝利を収める**ことができました。（**裁 4:1-7** エフドが死んだ後、イスラエル人は再び、エホバから見て悪いことを行つた。2 エホバは彼らを**カナンの王ヤビンに引き渡**した(d*売った)。ヤビンはハツオルで治めていた。**彼の軍隊の長はシセラで**、ハロシェト・ハ・ゴイム(*異国のの人々のハロシェト)に住んでいた。3 イスラエル人は助けを求めてエホバに叫んだ。ヤビン(d*彼)は車輪に鉄の刃が付いた戦車(d*鉄の戦車)900両を持ち、イスラエル人を20年間ひどく虐げたからである。4 その頃、ラピドトの妻である女預言者デボラがイスラエルを裁いていた。5 彼女は、エフライムの山地、ラマとベテルの間にあるデボラのヤシの木の下に座っていた。イスラエル人は裁きを求めて彼女の所に上ってくるのだった。6 **デボラはアビノアムの子バラクをケデシュ・ナフタリから呼び寄せ**、こう言った。「イスラエルの神エホバは命じました。『**さあ、タボル山に進軍(*展開)しなさい**。ナフタリとゼブルンから1万人を連れていくように。7 私は、ヤビンの軍隊の長シセラ、彼の戦車と部隊をあなたの所に、キシヨンの川(*ワジ:雨期以外にはたいてい干上がっている谷または川床。川そのものを指す場合もある。泉の水が流れ込んで年間を通じて流れている川もあった。原語は多くの場合「谷」と訳されている)に連れてきて、あなたを勝たせる』」、**10** **バラクはゼ**

ブルンとナフタリをケデシュに呼び、1万人が彼の後に従った。デボラも一緒だった、[13-16](#) シセラは直ちに、全ての戦車、車輪に鉄の刃が付いた戦車(d*鉄の戦車)900両と、自分と共にいる全ての部隊を集め、ハロシェト・ハ・ゴイムからキションの川(*ワジ)に向かった。14 デボラはバラクに言った。「立ち上がりなさい。今日は、エホバがあなたをシセラに勝たせる日です。エホバがあなたの前を進むのではありませんか」。バラクは1万人を率いてタボル山を下った。15 エホバは、シセラと彼の戦車と軍隊全てをバラクの剣の前で混乱に陥れた。ついにシセラは兵車から降り、自分の足で逃げた。16 バラクは戦車と軍隊をハロシェト・ハ・ゴイムまで追撃した。シセラの全軍は剣によって倒れ、一人も残らなかった) 私たちも、エホバを信頼し、組織からの指示に従うなら、必ず素晴らしい結果になります。([申 31:6](#) 勇気を出し、強くありなさい。彼らの前で、恐れたりおじけづいたりしてはなりません。あなたの神エホバと共に進んでいくからです。神はあなたを見放したり見捨てたりはしません)

しっかり立ち続けることを決意する

19. あなたはどんなことを決意していますか。どうしてですか。

19 私たちは、[この体制で生きている限り](#)、[しっかり立ち続ける](#)ために[闘う必要](#)があります。([テモ一 6:11](#), [12](#) 神に仕えるあなたは、こうしたことから逃げ去りなさい。そして、正しさ、神への専心、信仰、愛、忍耐、温和を追求めなさい。12 信仰の戦いを立派に戦い、永遠の命をしっかり捉えなさい。あなたはその命のために招かれ、その命について多くの証人の前で立派に証言しました。 [ペテ二 3:17](#) 愛する皆さん、こうしたことを前もって知っているのですから、用心しててください。不法な人々の間違った考えに惑わされて、しっかり立てなくなる(*安定を失う)ことがないようにしましょう) [迫害](#)、[巧妙な攻撃](#)、[神を無視した考え方](#)、[欺き](#)、[気を散らすもの](#)によって[決意が揺らがないよう](#)にしましょう。([エフェ 4:14](#) ですから、私たちはもう子供であってはならず、波にもまれるかのように翻弄されたり、風に吹かれるかのようにさまざまな教えに振り回されたりしてはなりません。人に欺かれたり、ずる賢いたくらみに乗せられたりしてはならないのです) [エホバへの献身の思いを貫き](#)、[どんな時もエホバの命令に従う](#)ことが大切です。とはいえ、このように[確固とした態度を保つ](#)のと同時に、[分別を示すことも必要](#)です。次の記事では、[エホバとイエスの素晴らしい手本](#)について考えます。

どのように答えますか

1. クリスマスはどんな3つの点でしっかり立つ必要がありますか。

- ・S04 ① [偶像崇拜をきっぱり避け、エホバだけを崇拝する](#)。宗教指導者や政治家、[スポーツ選手や芸能人を神のように見なして崇拝することもしない](#)。
- ・S05 ② [命と血の神聖さに関するエホバのおきてを守る](#)。[血は貴重な贈り物である命を表している](#)ので、どんな医療を受けるかについて決める時にも、「[血……を避けている](#)」ようにこの命令にしっかり従う。
- ・S06 ③ [エホバの高い道徳基準にしっかり従う](#)。[間違った欲望を除き去るために](#)、[体の各部をい](#)わば「[殺し](#)」思い切った行動を取る必要がある。[誘惑を感じる時](#)には、エホバとの絆を傷つけるような[考えや行動をすぐに退ける](#)ようにする。

2. サタンは私たちの決意を弱めるために、どんな方法を使いますか。

- ・S08 ① [迫害](#)。サタンの狙いは、私たちを「[むさぼり食](#)[い](#)」、[エホバとの絆を壊す](#)こと。サタンは今でも迫害を続けていて、ロシアなどの国で兄弟姉妹がひどい扱いを受けている。

・S09 ②**巧妙な攻撃。**ボブ兄弟が大きな手術を受ける時に、輸血を受け入れることはできない決定を外科医は理解を示してくれが、手術の前の晩、家族が家に帰った後、麻酔科医が訪ねてきて、「多分輸血はしないと思うけど、万が一に備えて準備はしておきますね」と言われた。兄弟は拒否し、確固とした態度を貫いた。

・S10-11 ③**神を無視した考え方。**世間一般の見方に影響されると、私たちがエホバやエホバの基準を気に留めなくなるかも。私たちが間違った考え方の影響を受ける危険がある。また家族や友達が感情に訴えて、妥協させようとして、「自分のしたいようにすればいい」とか、「聖書の道徳基準は時代遅れだ」とか言われるかも。さらに聖書に書かれている事柄を越えたり、個人的な事柄について規則を作って押し付けたりしないように注意する必要がある。

・S12 ④**欺き。**サタンは「中身の無い欺き」や「世の理念」を使って、人々を間違った方向に導き、分裂させている。エホバの組織の指示に従った人たちは不必要な心配や不安を抱えずに済む

・S13 ⑤**気を散らすもの。**私たちは、「より重要なこと」から目をそらさないようにする必要がある。おいしいものを楽しむこと、気晴らし、仕事などが生活の中で一番大切になっていたり、社会問題や政治問題についてのニュース報道の議論に気を散らされ、心の中で、どちらかを支持する危険がある。サタンはこうした方法を使って、正しいことを行おうとする私たちの決意を弱めようとする。

3. しっかり立ち続ける上で、どんな4つのことが助けになりますか。

・S14 ①**献身しバプテスマを受けた理由をじっくり考える。**エホバに仕え続けたいという気持ちから、この重要なステップを踏んだ。真理を見つけたと確信し、エホバについて知るにつれて、エホバを愛し、尊敬するようになり、だんだんと信仰が育って、それまで行なったことを悔い改め、良くない習慣をやめ、エホバの考えに沿った生き方をしたいと思うようになり、エホバが許してくださったと実感して、とても安心し、集会に出席し、学んだことをほかの人に伝えるようになった。今では、献身しバプテスマを受けたクリスチャンとして、命に至る道を歩み続けたいと思っている。

・S15 ②**聖書を学んで思い巡らす。**聖書を学んで思い巡らすなら信仰が強まる。エホバの方法に従うなら必ず良い結果になる、という確信も強まる。聖書の深い真理を学んでじっくり考えることは私たちのためになる。

・S16-17 ③**揺るぎない心を持つ。**ボブ兄弟も、万が一に備えて輸血の準備をしておくと言われた時、揺るぎない心でエホバに頼り、すぐに、「輸血される可能性が少しでもあるなら、この病院を出ていく」と答えた。ボブ兄弟は、入院するずっと前から(1)エホバに喜ばれることをしたいと思い、(2)命や血の神聖さについて、聖書や出版物を使ってよく調べ、(3)エホバの指示に従うことがいつまでも続く幸せにつながるということを確信していたので、揺らがない心を持つことができた。

・S18 ④**エホバを信頼する。**イスラエルの兵士には盾も小やりもなく、900両の戦車を相手に平原に下りていくな不利になることは分かっていたが、デボラを通して与えられたエホバの指示に従った。兵士たちがタボル山を下っていくと、エホバは大雨を降らせ、シセラの軍の戦車は泥の中で動きが取れなくなってしまった。こうしてバラクは、エホバを信頼したので勝利を収めることができた。

129 番の歌 決して負けない 最後まで